



～ 新年のご挨拶 ～



理事長 石塚博英

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
平素から、エネ研の運営や各種事業の推進に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



昨年を振り返りますと、11月に福井県産の超小型人工衛星2機が国際宇宙ステーションからの放出に成功し、本県の新産業振興の第一歩を踏み出しました。この衛星の開発にはエネ研も携っており、今後、エネ研は宇宙分野の研究開発に力を入れ、産業振興に貢献していく所存です。

また、エネ研では、廃止措置に対応するため、廃止措置工事への県内企業の参入促進を図る情報交換会等を昨年は2回開催するとともに原子力人材の育成事業、原子力設備の除染や切断に用いるレーザー技術の実用化研究を推進してきました。

このほか、イオンビーム加速器を用いた植物等の品種改良、陽子線がん治療の高度化、地元産業の育成事業などを進めており、様々な成果を県民の皆様に還元してきております。

本年も、研究開発・産業支援・人材育成の取組みを強力に推し進め、地域産業の発展に貢献できるよう職員一丸となって着実に取り組んでいく所存ですので、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

バングラデシュの研究者が加速器室で研究を行いました

エネ研では、海外の研究機関との交流促進のため、県内の大学等の研究機関で研究者・研究生を受入れる事業を行っています。今年度も5名の研究者・研究生を県内の研究機関に受け入れており、その中の1名が当センターの加速器室でおよそ2か月間の研究を行いました。

【氏名】メヘディ ハサン (Mehedi Hasan)

【所属】バングラデシュ原子力委員会タンデム加速器施設部

【研究期間】令和元年11月6日～12月24日

【研究内容】

加速器を利用した研究の中にイオンビームを用いた物質の精密微量分析があります。今回の研究テーマでは原子核反応を利用する分析のために窒素ビームをタンデム加速器で加速し、窒素ビーム引き出しのためのイオン源調整や得られた窒素ビームの品質についてまとめました。また、イオン源などのメンテナンスの作業も経験しました。メヘディ氏は持ち前の明るさと真面目な性格で他の運転員ともすぐに馴染み、様々な現場作業にも積極的に参加しました。



実験中のメヘディ氏

【メヘディ氏の感想】

母国の研究施設にも機器がありましたが、エネ研の加速器はより高度で精密なものでした。ここで新しい研究をすることができたこと、研究をサポートしてくれた関係者の皆様に心より感謝いたします。



加速器室のメンバーと共に

若狭高校の生徒がエネ研の分析機器等を利用して実験しました

SSH※（Super Science High school）指定校である福井県立若狭高校の2年生31名が、令和元年12月17日にエネ研の研究員の指導の下、各自の選択したテーマについて専門性の高い分析機器等を利用した科学実験や分析・観察等を行いました。

実験後には、ホールにて生徒同士による結果発表を行いました。発表がうまく聴講者に伝わるように工夫したり、活発な質疑応答を交したりして、科学に大いに興味を持つ体験となりました。

テーマ	講師（エネ研）
環境水等に含まれる微量金属分析	遠藤研究員
プログラミングと近似計算の基礎	西尾研究員
アルデヒド脱水素酵素の遺伝子型判定	田中研究員
β線とγ線の吸収曲線の測定（放射線と物質の相互作用）	栗田研究員
金属の蒸発と薄膜生成実験	石神研究員
発光ダイオード（半導体）の特性と光子数の算出	鈴木研究員
放射線による細胞内のDNA損傷の検出	前田研究員



β線とγ線の吸収曲線の測定



エネ研ホールでの実験結果発表

※SSH・・・文部科学省が指定。指定校は、科学技術系人材の育成を目的に、大学や研究機関等と連携し、学習指導要領によらない発展的な内容を学んでいます。

原子カグローバルスクール 2019 を開催しました

令和元年12月20日に、福井県内の高校生、大学生を対象に講義を全て英語で行う「原子カグローバルスクール 2019」をエネ研で開催し、若狭高校や敦賀高校の高校生31名と大学生1名が参加しました。このセミナーは、原子力等のエネルギーをテーマに、国際的な視野を養うとともに英語力の向上を図る目的で一昨年度から実施しています。

外国人講師からは、英国、米国のエネルギー情勢と文化について、日本人講師からは、国際機関の役割と仕事内容、インターンシップ経験や進路選択などについて説明を受けました。また、グループ討議では、各講師もグループに参加して少人数での英語によるディスカッションを行い、各講師の国際的な経験を身近に聞きながら国際的な視野を養う良い機会となりました。

受講生からは、「英語でのグループ討論では、進行やまとめ方など、多くのことを学ぶことができた」「社会に出た後に、様々なバックグラウンドを持つ人たちと議論するのに活かしたい」等の感想が寄せられました。

講義タイトル	講師
世界で活躍するグローバル人材として “国際機関の役割”	下村 和生（元 OECD/NEA 事務次長） （若狭湾エネルギー研究センター アドバイザー）
世界で活躍するグローバル人材として “IAEA でのインターンシップ経験から”	石井 大翔 （大阪大学 大学院工学研究科博士後期課程）
国際交流員から見たアメリカ文化と日本文化の 比較	ゾーイ・ウィンバーン （福井県国際交流員）
英国の文化と原子力・エネルギー情勢	キース フランクリン （英国大使館 原子力担当一等書記官）



キース フランクリン講師の講義

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。また、エネ研では、福井県内の企業を訪問し、研究ニーズとシーズのマッチングを行っております。訪問をご希望の方も、下記担当までどうぞ。

郵便：〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail : kikakushien@werc.or.jp TEL : 0770-24-7270 FAX : 0770-24-7275

